



宮崎県国富町に

ふかどし 深年太陽光発電所が完成!



深年太陽光発電所

敷地面積：約2万1500㎡
定格出力：1,550kW (430世帯相当)

- 高低差のある土地の形状をできるだけそのまま利用するために、3面に分かれている。いずれの面も効率良く発電できるように設計されている。
- パネルの数は全部で9120枚。国富町内に工場があるソーラーフロンティア(株)製のCIS(銅・インジウム・セレン)太陽電池モジュールパネルが使われている。

グリーンコープは原発のない社会をめざし、自分たちの使う電気は自分たちでつくろうと、^{※1}一般社団法人グリーン・市民電力を設立し、エリア内各地で自然エネルギーによる発電所づくりをすすめています。

グリーン・市民電力として3番目の発電所となる深年太陽光発電所が、宮崎県国富町深年に完成し、8月23日に竣工式が行われました。式には、グリーンコープの関係者をはじめ、国富町副町長ほか行政関係者、施工業者、産直生産者など、総勢85人が参加し、共に発電所の完成を祝いました。

※1市民による発電事業に取り組むため、グリーンコープの14単協と連合が社員となり、2012年に設立した

共生の時代

みどりの地球を
みどりのままで

2017 10月

■発行：グリーンコープ共同理事会
 ■編集：共生の時代・編集部
 ■〒812-8561
 福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号
 博多大博通ビルディング3階
 TEL092(481)7923
 FAX092(481)7876
<http://www.greencoop.or.jp/>

Contents

災害支援報告
組合員のカンパで被災地支援を続けています 2・3

グリーンコープの4R運動
カタログGREENはトイレトーパーにリサイクルしています 4・5

「洗う」ことすべてにせっけんを
シャボン玉フォーラム in 長野 報告 6

グリーンコープの輪・和・環
グリーンコープ生協おおさか
中村 裕子 さん 7

別紙にて、「放射能汚染と向きあう(放射能測定室より)」を掲載

チェック!
 11月16日から熊本県立美術館分館で開かれる「水俣病展2017」を観に行こう!カンパで協力もできるよ。前売券の注文やカンパの申し込みなど、詳しくはホームページを見てね。

**竣工式でのあいさつ
安心して暮らせる未来を
地域の皆様と共にめざします**



グリーンコープ生協みやざき
理事長 鈴江 信子さん

2015年1月にこの場所で起工式を行ってから2年半。ようやく私たちの発電所がスタートを切ることができました。この間、多くの方々との出会いがあり、本日を迎えられることに心より感謝申し上げます。今後も皆様と共に、地域の活性化に向けてお手伝いができるよう、取り組みをすすめていきます。

私たちの願いは、原発に頼らない社会をつくることです。一人ひとりの力は小さいですが、たくさんの方々と力を寄せ合い、大きなうねりにしていきたいと思えます。

**深年太陽光発電所竣工記念
グリーンコープおひさまフェスティバル in 国富**



9月2日、グリーンコープ生協みやざきは、発電所のお披露目かねて、国富町でまつりを開催しました。

当日は秋晴れの下、組合員や国富町の住民の皆さんなど約250人が参加。会場に設けられたステージでは、「エイサー踊り」や「くにとみ天領太鼓」がまつりを盛り上げ、町の特産品の販売、福祉活動組合員基金の助成団体やグリーンコープの生産者・メーカーも多数出店し、発電所の完成を賑やかに祝いました。

また、まつり会場から車に乗って深年の発電所を見学する企画も準備され、家族連れなどが、一面に広がる太陽光パネルを自分たちの目で確かめていました。



元気くんや国富町のゆるキャラしらたまちゃんも登場

※2 発電設備を大手電力会社の配電線に接続して運用すること

地域のつながりよみがえりまへのまへつとよんで実現した市民発電所

グリーンコープ生協みやざきでは、自分たちのエリアに太陽光発電所をつくらうと、4年前に「宮崎ソーラープロジェクト」が始まりました。

候補地の選定に向けて、地元の産直生産者などにも協力いただき検討を重ねましたが、宮崎県内にはすでに多くの太陽光発電所が建設されていました。候補地がなかなか見つからない、系統

連系(接続)が難しいなど、一時は計画をすすめることが困難な状況もありました。しかし、そのような中でも諦めることなく検討をすすめた結果、組合員の熱い思いを受け止めてくれる施工業者や国富町の皆さんと出会うことができました。

国富町は、町をあげて太陽光発電を推進しており、町内には、世界有数の生産規模で太陽光パネルを製造するソーラーフロンティア(株)の工場があります。深年の発電所にもそのパネルを使用しています。

竣工式当日、グリーン・市民電力会長の熊野千恵美さんは、「私たちは、原発を何とか止めたい、原発に頼らない電気を使いたい、安心して暮らせる未来を子どもたちに手渡したいと願い、市民発電所づくりをすすめてきました。私たちの願いがま

た一つ、みやざきで叶います。これからも、発電所づくりを通して生まれた出会いやつながりを大切にしながら、私たちの夢をカタチにしていきたいと思えます」とあいさつしました。

発電所を実際に目にした参加者は、多くの人の尽力によって無事完成することができた喜びを、改めて皆でかみ締めました。